

須商東京同窓会だより



総会

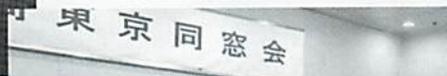
母校から来賓として、佐藤学校長と本部同窓会の荒井会長・霜田副会長にご臨席いただきました。

壺井東京同窓会会長と母校佐藤校長のご挨拶に次いで議事に入り、すべてご承認いただき終了しました。



懇親会

田町ハイレーンの中華料理と故郷から取り寄せた「おやき」をほおばり、酒を酌み交わしながらともに過ごした楽しいひと時でした。



須商東京同窓会だより

第16回ボウリング大会

参加者23名、先輩・後輩混じってワイワイ！
 今回のヒーローは、実力派の西沢さん。
 事前のひとり練習の成果バッチリの優勝でした。

- ・優勝 西沢弘文 (S40) 3 4 7ピン
- ・第2位 荒井清治 (S38) 3 4 5ピン
- ・第3位 稲 準義 (S44) 3 1 8ピン



ボウリング入賞者の皆さん



校長先生ガーター！



ジャンケン！



第3回ウォーキング会 5.9km

参加者は昨年と比較して、ほぼ倍増の11名。
 コースはハイレーン～芝浦ふ頭駅～レインボーブリッジ～お台場海浜公園～自由の女神像～台場駅（ゆりかもめ）芝浦ふ頭駅～ハイレーン。

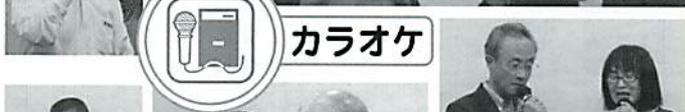
天気は快晴で風はなく暖か、絶好のウォーキング日和。レインボーブリッジは1.7kmの遊歩道。橋からは青い空と海、ビル群の眺めが素晴らしい。

お台場海浜公園はフジテレビ・日航ホテルなどのビル群を背に、緑に囲まれていて砂浜が広い。自由の女神像はフランスのレプリカで記念写真のポイント。観光客も多い。

秋の太陽を眩しく感じながら、都会のオアシスを満喫した、10,727歩、5.9kmのウォーキングでした。



(高相記)



落語

ご挨拶



須商東京同窓会

会長 壺井 洸男

(昭和二十九年卒業)

皆さん、こんにちは。本日はお忙しいところ沢山の方々が出席くださりまして誠にありがとうございます。

ご来賓は母校から佐藤広男校長先生、同窓会本部からは荒井会長、霜田副会長にはご多忙にもかかわらずお越しくださいまして誠にありがとうございます。

母校を取り巻く地域中学校の卒業者は減る傾向の様です。志望高校の志向にも変化が見受けられているようです。

同窓会本部では意見交換会が度々開催され、県教育委員会に母校の存続とか設置の条件等に関する要望書も提出されました。その後の状況をお聞きした範囲で、改めて申し上げますと、須坂市に現存する高校四高を三高に絞り、母校と園芸高校を統合し、そこに工業系を含んだ総合技術高校を平成二十五年以降、遅くも平成三十年までに設置することを長野県教育委員会では既に決定され、県議会の同意を得ることの段階に至っているようです。

荒井会長は須高地域の高校を考える会でも各種団体との意見交換などでお骨折りがされています。魅力ある高校として、これからの子供たちが将来に向って夢を抱ける高校になるのであれば、これも止むを得ないのかなと理解したいと思えます。

我々同窓生は母校が原点であり、須坂商業高校を卒業したお陰で今日がございます。先輩達が今日まで培われてきた歴史を同じ門下生として、皆さんと一緒に毎年一堂に会して東京同窓会を是非とも継続開催していきたいと存じます。

最後になりましたが、皆さまの今後のご活躍とご健勝を心よりご祈念申しあげまして挨拶とさせていただきます。

2009年度 東京同窓会参加者

S18 小坂 重雄	S38 樽沢 輝男
S18 大井 玉子(泰雄夫人)	S38 蜂谷 雅人
S29 神頭 保義	S38 牧 行政
S29 武田 健	S39 小嶋 武吉
S29 兵藤 武	S39 十木哲夫
S29 鈴木 澄夫	S39 中山 勉
S29 壺井 洸男会長	S40 三井 克保
S31 池田 明治	S40 岩井 和雄
S31 越 勝	S40 小田 彰
S31 小山 文夫	S40 小林 直治
S31 森山 徳男	S40 西沢 弘文
S31 浅岡 良夫	S40 大峽 賀利
S31 藤沢 三男	S40 有賀 信子
S31 疋田 雅博	S41 江守 四郎
S31 浜野 成一	S41 黒岩 敬子
S32 斉藤 裕三	S41 小山 俊久
S33 松澤 貞信	S41 清水 勲
S33 石川 和行	S41 北沢 博
S33 泉 英二	S42 佐藤今朝雄
S34 前川 邦夫	S43 中島 貞子
S34 中島 勇一	S44 稲 準義
S36 中澤 慎也	S47 金井 年男
S36 本井 春二	S48 森山 正道
S37 篠原 正勝	S48 田牧 博
S37 高相 博澄	S53 酒井 健司
S38 割田 隆	S53 倉島 和浩
S38 岩野 久可	S53 北村 充昭
S38 小林 義昭	S38 荒井 清治本部長
S38 小淵 重雄	S42 霜田 剛本副会長
S38 盛田 登	佐藤 広男校長

(60名)

東京同窓会日程

第1部

- ・第16回ボウリング大会【ゲーム開始：13時40分】
(進行) 小田 彰 (S40年卒)
- ・第3回ウォーキング会【出 発：13時30分】
(ナビゲーター) 高相博澄 (S37年卒)

第2部 総 会【開 会：15時30分】

- (司会 兼 議長) 小林直治 (S40年卒)
1. 開会の辞……………顧問 蜂谷雅人 (S38年卒)
 2. 東京同窓会会長挨拶……………会長 壺井洸男 (S29年卒)
 3. 来賓紹介・ご挨拶……………校長 佐藤広男 先生
 4. 議事
 - (1) 経過報告 (2008年11月から2009年10月まで)
事務局長 小田 彰 (S40年卒)
 - (2) 決算報告・監査報告 (2008年4月から2009年3月まで)
会計 齋藤裕三 (S32年卒)・監査 湯本俊雄 (S38年卒)
 - (3) 役員承認
 - (4) 母校近況報告
母校同窓会長 荒井清治 (S38年卒)

第3部 落語公演会【開 会：16時10分】

- (司 会) 小山俊久 (S41年卒)
(講 師) 凡从亭志ん功(ほんじゅうてい しんこう) 噺家 清水 勲 (S41年卒)

第4部 懇 親 会【16時30分から18時30分まで】

- (司 会) 金井年男 (S47年卒)
1. 来賓ご挨拶……………母校同窓会代表
同窓会副会長 霜田 剛 (S42年卒)
 2. 乾杯……………副会長 中山 勉 (S39年卒)
 3. 初参加者の(1分間)自己紹介
 4. ボウリング表彰……………プレゼンター 中島貞子 (S43年卒)
 5. ジャンケン大会(抽選会) ……プレゼンター 中島貞子 (S43年卒)
 6. カラオケタイム ♪♪♪
 7. 万歳三唱……………小坂重男顧問 壺井洸男会長
佐藤広男校長 荒井清治本部長
 8. 閉会の辞……………副会長 有賀信子 (S40年卒)

母校近況



須坂商業高等学校校長
佐藤 広男

須商東京同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃は、様々な場面でご支援を賜り心から感謝申し上げます。

本校は、商業教育・ビジネス教育を通じて「将来のスベシヤリスト・地域産業を担う人材・人間性豊かな職業人の育成」を目指す専門高校として、各学年4学級で現在約450名の生徒が学んでいます。

商業の学習分野「会計」「情報」「流通」に対応して五つのコースを設定し、専門性の一層の深化、上級資格取得の推進などを図り、経済産業省の情報処理技術者試験に連続して複数名が合格するなど実績をあげています。また、特色ある学習活動として、「須商まちかどSHOPくますぎ」は須坂を中心とした地域への出店だけでなく、高円寺商店街への出張販売も行い、東京同窓会の皆様から激励と売上への協力をいただきました。

進路実現では、約3割が地元中心に就職、約7割が大学・短大・専門学校等への進学という状況で、国立大学・短大へも進学するなど、学習成果や取得資格を活かした進路実現が多く見られます。

商業系部活動では、珠算部、情報処理部が全国大会出場を果たし、特に情報処理部は全国1T選手権で関東甲信越団体5位になりました。運動部の今秋の新人大会は、陸上女子円盤投げが県大会2位、北信越4位となり、卓球部は北信大会で男女とも団体準優勝、個人優勝、バドミントン部が北信男子団体・個人優勝などの成果ができています。

母校後輩も「人生の事業われにあり」を胸にそれぞれの成長のために頑張っております。今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げますとともに、須商東京同窓会の皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げます。

高校再編が課題



本部同窓会会長
荒井 清治 (昭和三十八年卒)

東京同窓会の皆様こんにちは。総会が盛大に開催され心からお祝い申し上げます。

須坂商業高校は、平成二十五年以降、早い時期に須坂園芸高校と再編統合され、商業・農業・工業を入れた「総合技術高校」として生まれ変わります。

過般、「地域とともに須坂新高を考える懇話会」で工業学科に「創造工学科」を新設し、精密機械コース・メカトロコースコースを設置したい旨の提案がありました。目指すは、地域産業を担う実践的なものづくり人材の育成であります。

この懇話会は、各高校の同窓会長・PTA会長、地域企業代表、市・教育委員会、小・中学校長等が委員となり、私も参加し須商の伝統を引き継ぐべく、思慮しているところであります。

他方、須商、園芸両校でつくる「新校準備委員会」での議論とすり合わせをしながら、平成二十二年七月までに意見集約し、実施計画を決定していく予定となっております。

話は変わりますが、本年六月二十一日、平成二十一年度同窓会を開催いたしました。東京同窓会からは壺井会長さんにご参加を頂きありがとうございました。席上、副会長の改選をいたしました。現副会長の長谷部ちづこ(旧姓 霜田)さん、若林美栄子(旧姓 森川)さんは一年間留年いただき、新任に、昭和三十六年卒業の小林郁子(旧姓 藤沢)さん、飯島喜以子(旧姓 藤本)さんをお願いいたしました。

記念講演会は第十九回卒業のパナソニック関連会社監査役、立岩明雄氏にお話を聞きました。私は、今後は再編後の須商同窓会のあり方を皆様と共に考えていきたいと思っております。

結びに、会員の皆様の更なるご活躍とご健康を、そして、東京同窓会がますます発展いたしますよう心から祈念してご挨拶いたします。

大先輩 昭和13年卒 堀 哲さんに感謝状贈呈

㈱まるほ商店を経営されている堀さんはボウリング大会等の賞品を永年にわたって、ご提供し続けてくださいました。お陰さまで私たちの同窓会は、毎年おおいに盛り上がりました。厚くお礼申し上げます。東京同窓会では、堀さんに謝意を表すため「感謝状」を贈呈させていただきました。



堀さんは現在、足の手術をされ、ステッキ使用ですが、顔色もよく、戦争当時の南方戦線での話しをされました。飢え・マラリア・敵軍監視等で「生きて帰れたのは、奇跡だった。」と……

堀さん、いつまでもおげんきでお過ごしください。

(蜂谷 記)

須商東京同窓会事務局だより

2009年度 経過報告

(2009年04月から2009年11月まで)

須商東京同窓会事務局

- 登録会員数(2009年11月20日現在)
 - 終身会員 2009年03月末/現在 233名
死亡 3名
2009年11月 230名
 - 年会員 2009年03月末/現在 61名
退会 2名
更新 44名(未更新 15名)
新規 12名
2009年11月 会費支払い済 56名
 - 賛助会員 2009年03月末/現在 18名
- 役員変更(2009年04月01日)
 - 斎藤 裕三(09回生) 会計より顧問(事務局)へ
 - 佐藤 今朝雄(19回生) 幹事(事務局)より会計(事務局)へ
- 同窓会総会の案内状送付後、33名より 145,000円の寄付を頂きました。
- 成美会誌(第16号)の発刊について
12月発刊に向け、事務局が一丸となって誌面づくりをしています。

事務局 活動日誌

★ 2009年度 ★

04/16	期別幹事会	・経過報告/決算報告/09年度活動計画	10名(田町ハイレーン)
08/26	期別幹事会事前打合せ	・同窓会総会/高校再編	11名(いずみ)
09/03	期別幹事会	・同窓会総会/成美会誌企画	14名(田町ハイレーン)
09/17	総会案内状発送	・同窓会総会/成美会誌原稿募集	5名(いずみ)
	[終身会員:229名 年会員:61名 首都圏在住者:351名 その他:3名(2件) 合計644名]		
10/15	総会事前打合せ	・出席者確認/役割分担	9名(いずみ)
10/29	総会事前打合せ	・出席者確認/総会印刷資料確認	10名(いずみ)
11/07	同窓会総会	・同窓会総会	60名(田町ハイレーン)

2009年度 寄付者名簿

2009年11月16日現在

(敬称略)

S13 堀 哲	S16 黒岩 幸衛
S17 山岸 伍助	S27 勝山 好次
S28 宮沢 登	S29 壺井 洸男
S29 兵藤 武	S29 武田 健
S30 河村 省三	S31 浅岡 良夫
S31 藤沢 三男	S31 坂口 邦一
S31 浜野 成一	S31 池田 明治
S32 斎藤 裕三	S33 泉 英二
S33 広田 俊三	S34 小坂 公男
S36 竹原 忠迪	S36 藤沢 嵩
S37 原 武夫	S38 根岸嘉一郎
S38 蜂谷 雅人	S38 牧 行政
S38 小泉 充男	S38 古岩井厚夫
S39 中山 勉	S40 小田 彰
S40 有賀 信子	S41 江守 四郎
S41 小山 俊久	S43 中島 貞子
S55 橋本きみ子	
以上 33名	金額 145,000円

須商東京同窓会平成20年度決算報告書

(平成20年4月1日~平成21年3月31日)

単位 円

収入の部	金額	支出の部	金額
前年度繰越金	990,193		
期別幹事会会費	72,000	期別幹事会費用	95,067
事務局会議会費	131,500	事務局会議費用	253,945
総会会費	434,000	(内補助金)	(130,000)
年会費	61,000	母校同窓会総会参加費用	25,960
終身会費	90,000	須商東京同窓会総会費用	438,860
寄付金	138,000	成美会誌印刷・郵送代等	250,128
賛助会費	37,000	その他(インク・用紙等)	12,125
(14号発行以降分)	(18,000)	郵便振替・振込手数料	16,055
ご祝儀(母校・同窓会・PTA)	20,000		
銀行預金利息	1,181		
		次年度繰越金	882,734
合計	1,974,874	合計	1,974,874

上記の通り報告いたします。

平成21年4月16日

会長 壺井 洸男 

監査報告

平成20年度事業報告及び収支計算等、関連帳簿、証拠書類等、の提示を求め所定の監査を実施した。その財源、使途及び当該年度末における財政状態を適正に表示し且つ正確であることを認めました。よって、ここに報告します。

平成21年4月16日

監査役 湯本 俊雄 

・イキイキライフ・

第二の人生は植木職人

S41年卒 小山 俊久

平成19年コンピューター関係の企業を定年退職後、これといった趣味も無く家で“ブラブラ”していた或る日、女房が生け花をやっている関係もあり、私に向って「花木の名前の一つでも覚えたら」と。女房の一声で植木に興味を持ちはじめた。

後日、ハローワークを通じ、立川に植木関係の技術訓練校のあることを知り、平成20年4月入校のための準備に入った。同年3月に入学試験があり、幸いにも合格することができ、半年間植木に関する基礎的知識を得ることができた。同年9月に卒業、10月に板橋区のシルバー人材センター植木班に登録した。数ヶ月間の植木職人としての講習を受け、どうにか職人として一本立ちできるようになった。

今では、お客さんからすっきりして明るくなったと喜ばれることが多く、その言葉でやる気と生きがいを感じるようになってきた。

今後も一層社会貢献に尽くし、また肉体労働であり、危険をとまなう仕事であるが、体力の続く限り頑張っていきたいと思っている。



「生涯現役！」

S40年卒 有賀 信子

「生涯現役でいたい」この言葉は、それまで11年余り勤務していた都銀を定年退職し、新しい仕事を探していた時に、ある会社の面接で言った私の言葉です。実は自分では緊張のあまり覚えていませんでしたが、後日、その言葉で私の採用を決めたと明かされ、とってもありがたく、今年9月まで勤務させて頂きました。

平均寿命の伸びているこの時代、退職後の自分の楽しみとして、数年前から歌のレッスンを受けています。3年前、たまたま生バンドで歌う機会に恵まれました。

ステージのそでで出番を待つ間の何ともいえない緊張感、そしてバンドマンの前に立ち、日常の自分から抜け出し、精一杯歌った後の安堵と充実感。それが心地よく、以来生バンドやカラオケ発表会を目標に練習に励んでいます。

人それぞれの“現役”があると思いますが、私は歌仲間の諸先輩のように、いつまでも歌い続ける事。仕事はやめても、これが私の“生涯現役”と信じて、これからも頑張ります！



激動期の一枚の写真

先日の総会に元東京同窓会長、小坂さんが仙台より出席されました。同期生は昭和18年卒業の「陶冶会」のメンバーです。

東京同窓会が十数年前崩壊の危機に立たされた時、救ってくれた人たちが陶冶会の小坂・故大井・故丸田の各氏でした。言わば東京同窓会の「中興の祖」の人たちです。

今年の総会には故大井泰雄さんの奥様も出席されました。大井さんは平成19年9月に他界され、3回忌を済ませた奥様が遺品を整理していたところ、この一枚の写真が出てきたそうです。夏服の正装で帰郷した折、写真屋に依頼し撮ったものです。(昭和激動期の一枚)

写真の裏には昭和19年7月24日と記してありました。大井さんは昭和18年春、愛国心に燃えて甲種予科練を志願し、特攻隊員として九州で出撃待機中に終戦を迎えたのです。

大井さんは、先に出陣して散って逝った戦友を想い、当時の話は避けていたようです。(蜂谷 記)

物故者

◆ ご冥福をお祈りいたします ◆

昭27年卒	原田 幸雄 (終身会員)	6月	昭28年卒	黒田 幸雄 (終身会員)	1月
昭34年卒	中村 次治 (終身会員)	6月	昭49年卒	山崎 和男	7月

S37年卒 第4回「級友会」 (関東地区合同同級会) 銀座で開催!

昭和37年卒業から47年、クラスの垣根を越えて、近況を語り合いながら旧交を温めようと、A組青木則夫・B組堀内忠・C組天野清志君らが幹事になり、5月に開催後、今年2回目の同期会が平成21年9月26日(土)銀座「がんこ」で開催された。

当日は卒業後、初めて同級会に参加した人、上田市から駆け付けた人もあり、総勢15名にて行われた。

顔と名前が一致するのに時間がかかる人もいたが自己紹介と近況報告で、47年間の垣根がとれた。

自己紹介ではマスターズ陸上に参加し入賞した人、定年後も仕事を継続している人、再就職している人、スポーツを楽しみ東京マラソンに挑戦している人、ゴルフを楽しみながらお店を営んでいる人、親の介護をしている人等、お互いに現状と友情を確認しあった。

2次会は場所をカラオケ店に移し、お互いの喉を競い合った。最後に「信濃の国」を熱唱し、次回は来年5月軽井沢にて長野地区との合同での再会を約束して散会した。

(高相 博澄 記)



(後列) 渡辺 俊夫 青木 則夫 天野 清志 佐藤 喜重
 小山 元宏 山崎 一樹 篠原 正勝 片桐 弘勝 堀内忠
 坂本日出男 割田 実 黒岩清四郎 西堀 健司
 (前列) 高相 博澄 池田 晃

S18年卒業者の陶冶会員のエッセー集 「トーヤの寸話」を紹介いたします。

須坂に拠点を置き勝山義三会長を中心に会員それぞれの生活記、回想記等の随想集で24名の会員及び準会員の寄稿文で47編ほか俳句、自由詩が掲載されています(B5版40頁)。

私達会員は80歳の大台を超え、終日なす事なく過ごすのは「勿体ない」、長い人生の中で「喜怒哀楽」何かあるだろうとの提言「トーヤの寸話」を私の一頁として纏めることとし、書く喜び、書く誇りでスタートしました。

それぞれ趣きのある寄稿文により、多彩な読み応えのある文集になりました。八十路の坂を登りはじめた我々、この歳になり誰もがどこか病み病人でいます。

文の多くにボケない様、健康で過ごせる様、思いが込められています。「一病息災」病気をあまり気にせず笑顔で明るく過ごしたいもの。歩んできた人生を少し振り返ってみて、これから残された人生の一日一日を大切に生きていくため、この「トーヤの寸話」を機に、その先を見つめていきたいものです。



追記 後日付録として「笑い」の冊子(B5版19頁)を発行。主題14編37文を掲載、軽妙洒脱ユーモラスな詞章の中に教訓知識が凝縮されている。笑いが健康の元、お互いに元気で長生きにとの想いの発刊です。

(田中 茂利 記)

編集後記

事務局が総力をあげた総会も大勢の参加を頂き、無事終了する事が出来ました。特に遠方からの参加者に対して深く敬意を表します。また、今年は、若年層の参加者が際立って多く見受けられた事にも大変元気づけられました。来年も、ぜひともご出席いただき、場を盛りあげてください。

事務局にご返信いただいた総会の回答はがきには「体調がすぐれず残念ながら参加出来ない」との返事が多く寄せられています。このような方にも少しでも総会の雰囲気伝えることができれば幸いです。また、せっかく参加のご回答をいただきながら、数名の方からは、今年流行のインフルエンザで参加を見合わせる旨のご連絡をいただき大変残念な思いをいたしました。

須坂商業高校は、平成二十五年以降、早い時期に須坂園芸高校と再編統合され、商業・農業・工業を入れた「総合技術高校」として生まれ変わろうとしています。私たち東京同窓会は母校が変わるうとも、出来る限り存続させていきたいと考えています。

最後に、東京同窓会の運営が円滑に出来るように、会員方々のご支援を望んでやみません。

事務局長 小田 彰